

東京すくわくプログラム活動報告書④

〈テーマ設定の理由〉

マットや肋木、ハシゴ、巧技台等、色々な設定を組み合わせることで、子どもたちがどのようにイメージを持ち、からだを使って遊ぶのか。一人一人の体の動きや、イメージ、また友達同士で遊びがどのように広がっていくのかを見ていく。

普段の生活から踏ん張る力や足首の硬さがある子が多いので、自分の体をしっかり支えることや足指でしっかり地面を蹴ること、手を使うこと等も意識をしながら設定を組んでいく。体を育てることでイメージも広がっていくので子どもたちの姿や、対話も通して取り組んでいく。

手指をしっかりと開き、握る、掴む、横向きで転がる等、全身を使いながら楽しく遊ぶ中で体の使い方、経験の少ない体の動きを促していく。

〈活動スケジュール〉

午前中のおやつを食べ、ホールで設定遊びを行う。

〈環境をデザインする・探究活動の実践〉

ダイナミックにたくさん体を動かしていけるよう、ホールを広く使い設定を組んだ。

大きさの違うロールマットを3つ並べることで緩やかな斜面ができ、足で前に進みながら滑ったり、うつ伏せや横向き等、色々と試した中で、横向きで勢いよく転がることを楽しんでいた。

はしごでは、前回より高めに組み、しっかりと手でつかみ、握れるようにぶら下がれる環境を作った。

鉄棒のように足をかけてぶら下がったり、自分の体を引き寄せてはしごの隙間をくぐって上ったり等自分で体の向きや体勢を変えながら楽しんでいた。

着地をする時に転がる姿が見られたため、フープを一つ置き距離感を考えながら輪の中をめがけてジャンプすることを楽しめるようにしていった。

けんけんばを置いてみると、テンポよく跳んだり、輪っかの順番を変えて跳ぶことを楽しんでいた。繰り返し遊ぶ中で子ども達の遊びの考えが広がり、最後にドンじゃんけんをして体を動かしていった。

園名：社会福祉法人たつの子の会
羽村しらうめ保育園
活動日時：令和7年11月21日
午前中
クラス名：ぞう組（5歳児クラス）
年間テーマ：設定遊び

〈活動の為に準備したもの〉

- ・体技台 ・梯子 ・一本橋
- ・はしご ・ロールマット ・マット
- ・布団棚 ・肋木 ・フラフープ
- ・机



〈振り返り〉

- ・手指をしっかりと開き、握る、掴む、横向きで転がる。この3つの動きが自然と遊びの中で引き出せるように設定を組んだ。はしごや肋木等ある程度の高さを出したことでしっかりと力を使いながら遊ぶことができた。また、ロールマットで斜面を作り、色々な転がり方を体験しながら横向きの動きも促すことができた。
- ・空間を広く使ったことで子ども達も繰り返したくさん体を動かしながら楽しんでいた。
- ・けんけんばでは、バランスとを取りながら跳ぶことから、子ども達自身が遊びに繋げて楽しめる環境であったと感じた。
- ・ジャンプでは、一つの輪をめがけてとぶことを楽しんでいたが、徐々に距離を遠ざけたり、輪っかを増やす等色々な楽しみ方ができたのではないかと感じる。今後の遊びに繋げていく。